

宣傳自動車隊を編成

「交通禍」一掃を圖る

平署で明日宣傳方法打合

来る十四、五兩日縣下一帯に行はれる交通安全デーに際して平署並に自動車協會平支部では例年の如くピラチラシ等を作成する外宣傳自動車隊を編成して平署管内を宣傳することになり明日午後一時から平署會議室で之が協議會を開いて宣傳方法の打合せを行ふ

秋の豪華版

磐陽野球大會

スポーツ

磐中、平商兩球場で開催

地方スポーツ界の豪華版—磐陽審判協會主催東朝平通

信部後援(十一回)磐陽
野球大會は来る二十五日、十一月一日の二回に亘り磐中、平商兩球場に展開されるが揚土クラブは選手不揃への爲め参加せず八チームで弱を争ふ事になった、組

オリムピツクの旅

往來途上の印象記

辯護士 松野尾 繁雄

歐洲大戰の名將軍だ。獨逸國民は非常に親しみをもつてゐるらしい。しばらくすると、猛烈なハイル、ハメルの絶叫、スタンドの大半を埋める獨逸人は一勢に起つて手を前に突き出し、ヒトラー總統の歓迎だ。黒い制服の親衛隊に護られ總統は静かにマツケンゼの

△第二回戦十一月一日
A勝者—B勝者
(平商球場)
C勝者—D勝者
(磐中球場)

川崎團長

本日出仙

川崎平少年團長は今日午後二時半から仙臺市役所に開催された少年團宮城地方聯盟大會臨席の爲め平發午前八時二十分に出張したが明日一日も引續き催されるジャズボリーに参加する筈

郡下道路

下検査

縣で三日間執行

縣土木課技師は本十日來郡、三日間に亘り郡下に於ける明年度施行の道路下検査を行ふ

平女青幹部會

平女青年團は今十日午後二時から第二校に幹部會を開きつた。

「女兒四百米繼走」

豫選の組合決定

磐女陸上競技明日に迫る

磐女の陸上運動會は既報の如く明日午前八時から櫻ヶ丘グラウンドに開催、各種競技のマスゲームや盛澤山のプログラムに觀衆を喜ばせる筈であるが呼び物の郡下小學校女兒優勝旗争奪四百米繼走の豫選組合せは左の如く決定、豫選に於ける第二位まで決勝戦に出場する筈である

A組 平第三 好間尋高
植田B組 湯本尋高 平第二 四倉

郡南蛭田川起工式

十三日盛大に舉行

縣から迫經濟部長等臨席

既報、愈々今年度施行に決定した郡南蛭田川の改修工事起工式は来る十三日午前十時から勿來町蛭田川河畔で盛大に舉行されることになつたが縣から迫經濟部長が君ケ代の合唱、ヒットラフも勿論起つて、手を前に突き出し日本の勝利に敬意を表するのであつた

小濱魚組

役員改選

植田町小濱漁業組合は此程總會を開き左記役員を選舉した

(組合長)渡邊國之助(理事)豊田豊 丹野藤一 豊田丑松 鈴木漁藏(幹事)柳葉藤八 半谷久衛 吉田淺次郎

縣下圖書展

郡内入賞者

縣下各中等學校及び各小學校兒童の圖書展覽會は既報の如く今日から三日間阿武隈川畔本縣教育會館に開催されるが本郡下に於ける入賞者は左の如く平第一、同第三、勿來の三校は榮ある學校賞を授與された

△特選(中等學校)磐中五年牧田清(小學校)平第一 高二矢野博 同第三尋二 猪狩せつ子△佳作(中等學校)磐女二年廣澤登喜子(小學校)鹿島尋五永井喜一 小名濱尋三遠藤統雄 草野同松本ノブ子

△賞状(中等學校)磐中五年北野正明 同山家重三 同柴田永雄 磐女三年鯨岡アイ 同大和田智恵子(小學校)赤井尋五菊地農子 好間尋五山野邊實内郷第二尋四綿引勝義 内郷尋高高一服部武司 同尋三根本一夫 鹿島尋六八代甲藏 江名尋四吉田チヨ子 四倉尋六鈴木武雄 同尋五野口光 豊間尋五鈴木善一 平第三尋四吉田正治 平第一尋六豊田聰明 川部尋一吉

平間人事

△出 生
△鎌田町二四當時内郷村大字白水字廣畑五二齋藤慶藏氏長男昇さん
△鷹匠町一〇小野清氏二女悦子さん
△南町一九浦井久太郎氏二男道正さん
△古鍛況町三八山野邊吉之丞氏四男貞吉さん
△三町目四一長谷川義松氏二女セイ子さん
△死 亡
△鎌田町一四當時内郷村白水字廣畑五二齋藤昇さん(一ツ)
△新川町一眞根井セイさん(七四)

晴れて添はれぬ 宿世の戀

濡れ場・心中モ子〇・K

暫く別れて小金を溜めて

九日夜十一時頃平署内で二人は死んでも離れぬと關西弁で濃厚な濡れ場を展開して厳めしいサーベル氏を悩ました男女連があつた——右は平町福宜町ハル長女松本トク(三)並に大阪府下南河内郡柏原町會社員藤木吉太郎(九)——何れも假名一の兩名で、兩名はトクが去る昭和六年春以來前借金八百圓で奈良縣郡山市遊廓河本樓に娼妓として稼ぐうち藤本が朋輩四名と

「倅一人」に「娘一人」の愛は果敢ない？

お裁きを と願ひ出たもので女の母親は「一人娘だから他には何ふしてもやれぬ」と頑張り、藤木もまた一人息子なので「嫁に呉れ、ば兎に角やる譯には行かぬ」と兩方とも「母と子」「二人ツきりなので貰ひるならばと妥協が付かず結局暫く別れて小金を溜めて

全國を股に前借詐欺か 不敵の男女連平署で逮捕

茨城縣磯原町生れ石井愛子(三)は去七月廿一日若松市外町北村料理業泉屋こと高力仙助方に前借四百六十圓で住込んだ翌日貸見と稱する自稱石井豊次郎(三)と共に謀の上逃走、行方を晦ましたので捜査中の處材木町興行師風戸秀雄方に潜伏し居ること發覺、九日平署で逮捕引取りに來た若松所員に引渡したが

同人等は兄妹とは眞赤な偽りで内縁關係にあり全國を股にかけて前借詐欺を行つてゐた嫌疑が濃厚で原籍等も全部出太羅目で女は山形縣生男は東京市生れのやくざであること判明した

父ちゃんは死ぬ」と

子供に因果を含め

生活苦から鐵道自殺

内郷村大字宮字宮澤高萩榮太(三)は本月一日頃から生活苦のため精神に異常を呈してゐたが昨九日午後一時頃湯本町入山地内の野天風呂に行くとき長男の勝榮

明日の部

今晩は東の風曇 后雨 明日は北の風曇 后雨

今晩の部

後六、〇〇 偉人物語「孔子様」東京放送童話研究会

後六、二五 講演「光を讃へて」原泰一「失明の防止」石原忍

後七、三〇 ラヂオドラマ「希望の人生」藤尾純他

明日の部

前九、三〇 子供の部

管絃樂日響

前一、〇〇 日勤勤行 静岡市大岩大瀧山臨濟寺中繼(静岡)

前一、〇〇 講演「聴力の保護について」増田胤次

前二、一〇 講演「新渡戸稲造先生を偲ぶ」小林茂雄

前二、四〇 六大學野球 早立帝法戰神宮球場中繼

後〇、五〇 狂言「棒縛り」多々良外茂三他

後一、二〇 歌謡曲 三門

赤井の火事

代理選舉其他を附議した

九日夜十時半頃赤井村赤井農矢野銀吾(六)方梨小屋から發火同小屋一棟を全焼して間もなく鎮火した。損害は五十餘圓、原因は銀吾が飲酒の末ランプを消すのを

水揚躍近

小名濱町魚市場に於ける

去る一月以降九月末迄の取扱水揚げ總高は百十六萬六千七百九十圓でこれを昨年同期に比較すると六萬七千圓の増加で年末迄には二百萬圓突破するものと豫想されてゐる

同僚を脅かした

たかり常習の不良

恐喝、傷害で起訴さる

錦村大字中田昭和館長屋二八號鐵工宮崎辰次(三)は今日平検事局で櫻井檢事取調への結果恐喝、傷害罪として起訴され近く平區で野木判事係りの下に公判開廷される事になつたが同人は去月十三日午後八時頃同僚

病弱の妻子を残し

友人と姿を晦ます

他にも捜査願二件

茨城縣多賀郡松原町村山吉(三)の内縁の夫志藤文吉(三)は去る五日老母と妻子を残して無斷家出、その後風の便りに文吉は知人の大島芳男(三)と共に好間村萩原炭礦に出稼きしてゐるらしいと判明されたときは病弱の身に老母に二つの女兒を抱いて生活に困るので捜査して欲しいと本日平署へ捜査方願ひ出た

徒第が相談して

内郷村大字高坂字御殿山一八武田一男(三)同村字金坂松岡政治(三)何れも假名の兩名は茨城縣多賀郡日立町字宮田洋服商加藤大次郎方に徒弟として雇れ中去る四日無斷歸宅、そのまゝ主家に歸らぬため本日平署へ主人から

裁判一束

既報去月四日午後一時頃平窪村五反田地内でトラックに衝突乗客田村郡大越村猪狩徳三郎(五)さん外二名に重傷を負せた赤井村大字高萩字下川原乗合自動車運轉手後藤新一(三)は今日平區野木判事から業務上過失傷害罪として略式罪金三十圓に處された



（電報社） 悟道軒圓玉（作）
尾。至。陽（書）

二四三 腕がうなる
北海道に参つた幕臣は榎本君の指揮のもとにそれ／＼部所について開拓に従事した、ところが新政府に提出した願書の趣意は貫徹せず不禮なる申條なりとあつて追討の大軍押しよせるとの報告に接しそれに應ずる軍議をひらいたもうこうなつては平和手段を取ることは出来ない、なほ又敵の動靜をさぐらせると官軍の軍艦甲鐵飛龍陽春春日丁卯豊安戊辰の八艘は薩長柳川久留米阿波松前彦根徳山因州備前兵を乗せて今南部の乗ヶ崎まで来りしとのこと、そこで敵の押しよせるを待つて戦つたものか但こつちより押寄せたものか何うかとその意見を榎本君が重要な人々に問ふと、回天の艦長甲賀源吾は第一それへ進み出で



源「敵をこの地へ上陸なさしめては大いに不利益である、依つて敵の油断いたして居るところへこちらより兵を出して攻撃いたしたならば勝利を得るであらう、また勝利を得ることならざる共わが軍の意氣をし、二つには相當の損害をもち

歳「これは甲賀の説はもつともだ、大軍をこの地に上陸させては防戦に困難だ、それはいつかはこの地で戦ふことは判つてゐるが、この地の土を踏ませぬうちに目に物見せて大打撃を加へなば敵の士氣を弱め、その反對に味方の士氣は旺盛となる、ことに彼等は、大軍をたのみに致し居ればまさか

に吾軍が押寄せて火蓋を切るとは思ふまい、これは早速軍艦を出して、敵艦の碇泊したし居る乗ヶ崎へ乗り込んで弾丸をあびせてやるがよからむ」といつた、この説に同意をしたのはかつて上野の戦争で散々官軍をやました笹間金八、これによつて回天蟠龍高雄の三艦へ三百有余人打乗り敵艦をおそうことに決した、總指揮艦は海軍奉行の荒井郁之助、陸軍奉行並土方歳三と指揮官、函館を發したは三月の廿一日

すると官軍の軍艦は乗ヶ崎を出て今南部領の宮古灣に居るとの報告を得てこれによつて三艦は宮古灣を指してすゝむ、ところが暴風雨にて波高く三艦は分離した、これが幕軍に取つての不幸、官軍には幸ひ、そこで回天宮古灣の手前の大津竈に入り、これに暫時休息して波のしづまるを待ち、

且また高雄と蟠龍がこゝに來るかと待ちうけたが影も見えぬ、いよいよ進撃するとしても回天一艦、それで精銳の武器をそなへた官軍の軍艦八艦を敵として戦うはちと無謀です、ところが甲賀源吾に土方歳三は相かはず進撃説を主張して源「甚だ古びたることであるが、戦ひは兵の多少にはよらぬ、又如何に武器が精銳なればとて、之を扱ふ者の心がにぶ居つては物の役に立たない、吾々はいづれも決死の者共である、さすればこの回天一艦に乗り込みし者にて敵をなやまし勝利を得ることも出来るに相違ない、軍事にもつともたうとむべきは時機である、機會を取り逃がしては勝つべき戦ひにも敗れる、蟠龍高雄の來るをこれに待ちうけて居るうちに敵の軍艦が押し出しては大いに不利益だ、早速こちらから乗りよせるがよからむ」といつた、そこでこの港を出て宮古灣を指して進む、一艘で八艘の中へ飛び込むはこれは尋常の戦ひでは勝つことは出来ない、敵艦のうちで旗艦と致しある甲鐵へ乗り込んで斬りまくるつもり、亂暴な戦があるものです。

三月二十五日の拂曉宮古灣に近く回天は乗り付けて艦長の甲賀源吾が望遠鏡にて灣内を見ると甲鐵を先頭にして八艦はズラリとならび居る、これを見ると人々の腕はうなりを生じた。

心ヨク通ジ薬
アロフエノール
平田町 阿部薬舗

當擔醫門專科各
院病濟共 磐城
久喜部谷長 士博學醫 長院
番一四六話電・平

新製秋冬紳士服御詔
御假縫付仕立入念奉仕！

| | |
|-------|---------|
| 背廣三ッ揃 | 金三十圓より |
| オーパ各種 | 金二十五圓より |
| モーニング | 金四十五圓より |
| 立衿 | 金十二圓より |
| 二重廻 | 金二十七圓より |
| 東コート | 金十六圓より |

御注文一着毎に抽籤券進呈 (但シ金參拾圓以上)

供提品景謝感
(一)等) モーニング及綿ズボン一着分 一本
(二)等) ラクダカーバ、コートチング一着分 一本
(三)等) 合背廣服生地一着分
(四)等) 富店發行金拾圓券一枚
(五)等) カフスホタテ一組宛
以上全部總當り

特賣期日 九月十五日より
十二月三十日まで
抽籤發表 昭和十二年一月十五日
嚴正に抽籤施行

福永洋服店
福島縣平田町十九
末廣料理店前 電話二二八

美味... 新鮮...
ベーカリー
東京堂のパン
是非御試食を！
平棧樋小路
電話一〇八番
徒弟入用

味美 鱈節
賣發新 貝焼 罐詰
當店特製 鱈節
魚問屋
賀志盛榮
平四丁目(電話二一三)